

黒潮は、房総沿岸に接岸して流れていました (図2)。
外房海域の水温は平年並みでした (表1)。

【詳細】

外房海域の平均水温は、水深0, 50, 100, 200mいずれも平年並でした (表1)。

外房沿岸の水深10, 100, 200m層では、沖へ向けて水温が急変する潮目が形成されていました (図3)。また、先月に引き続き、海面から水深50mにかけて黒潮系水とは異なる高水温・低塩分水が見られました (図5,6)。この他に、太東岬沖の水深350m以深及び野島崎沖の水深450m以深には、10℃以下、34.2PSU以下の低水温・低塩分水が見られました (図5,6)。

黒潮は、房総沿岸を小さく蛇行しながら接岸して流れていました (図2)。

クロロフィル濃度は、水深10mでは勝浦～鴨川沿岸が3μg/L以上になっていました。一方、水深50mではやや沖に1μg/L程度の海域が見られました (図7)。

勝浦沖のキンメダイ漁場の水温は、水深100m以浅は例年より低め、水深200m以深は例年よりやや高めでした (図8)。

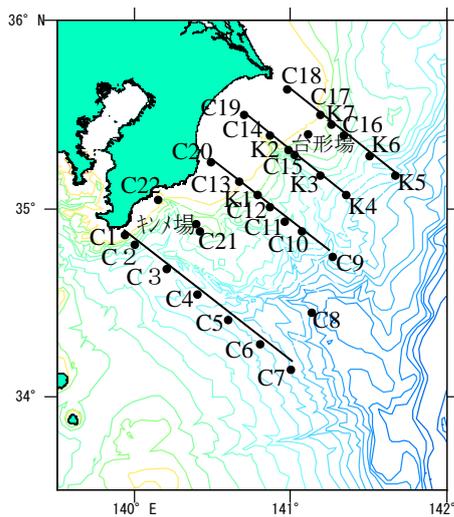


図1 調査点 (北側2ラインは欠測)

線は北から犬吠崎、九十九里、太東岬、野島崎南東線

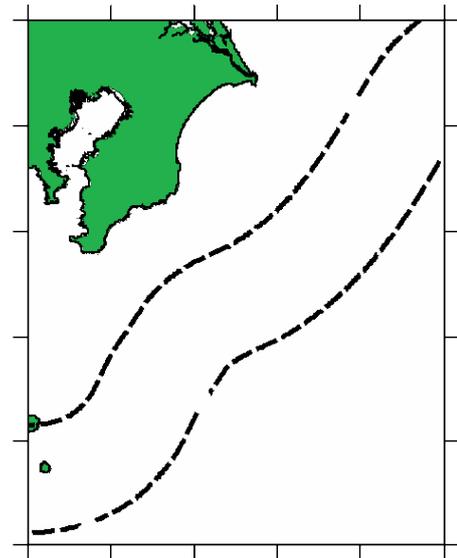


図2 黒潮流路 (破線)

表1 海域別平均水温 (℃) と評価※

海域	0m	50m	100m	200m
銚子・九十九里	欠測	欠測	欠測	欠測
外房	26.1 平年並	19.3 平年並	17.5 平年並	14.1 平年並

※ 下記により評価しています。

- ・使用している観測点 銚子・九十九里海域：C14～20 計7点、外房海域：C1,3,11,13,21,22 計6点
- ・方法 下式で算出される値の高低で評価しています。

$$\frac{(x - x_{30})}{\sigma_{30}}$$

x : 今年の平均水温

x₃₀ : 直近30年の平均水温

σ₃₀ : 直近30年の標準偏差

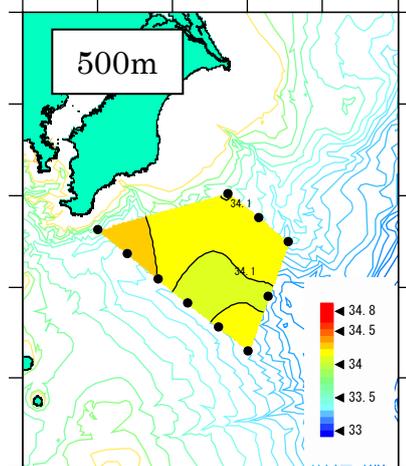
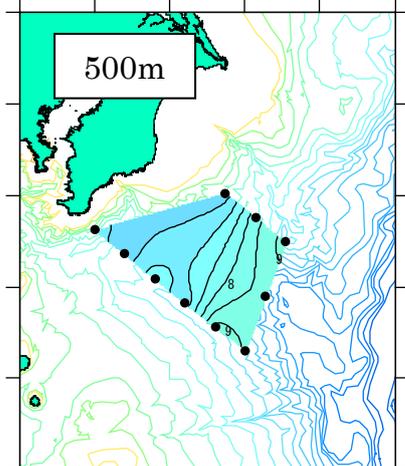
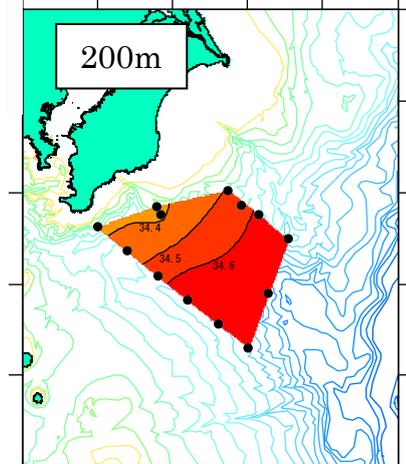
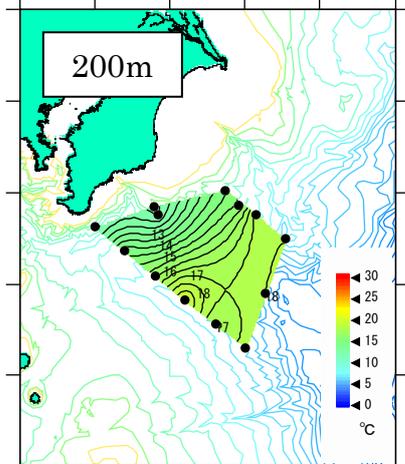
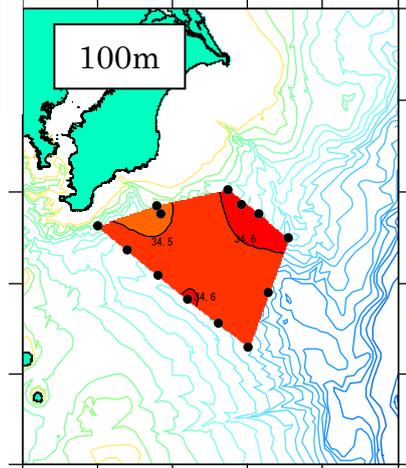
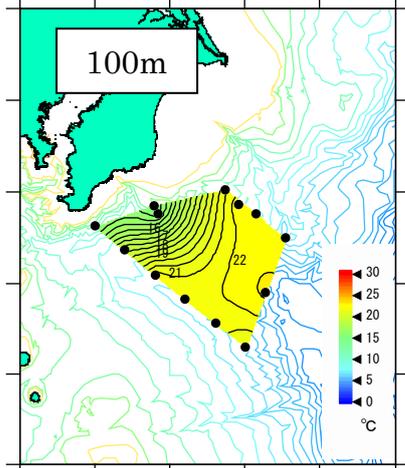
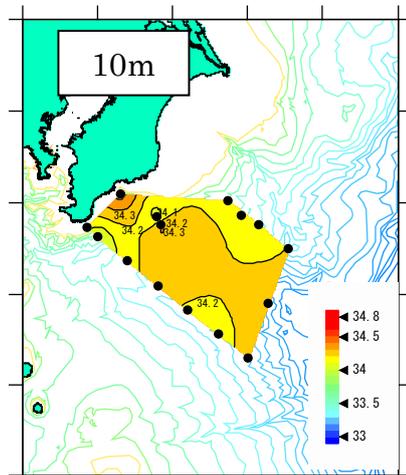
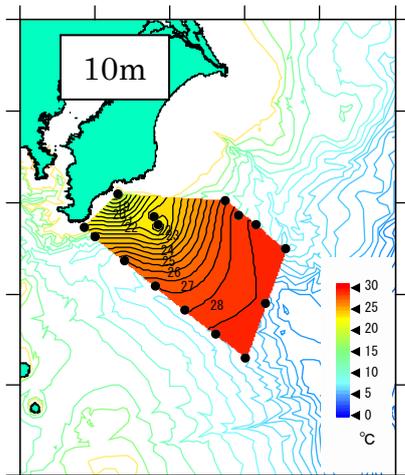


図3 水深別の水温分布

図4 水深別の塩分分布

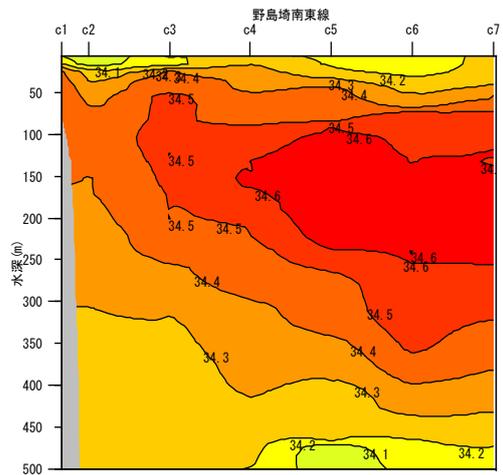
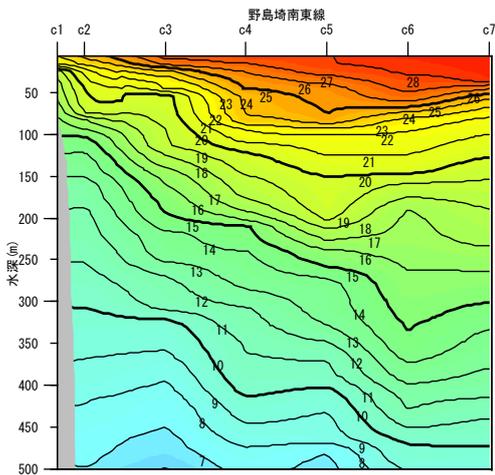
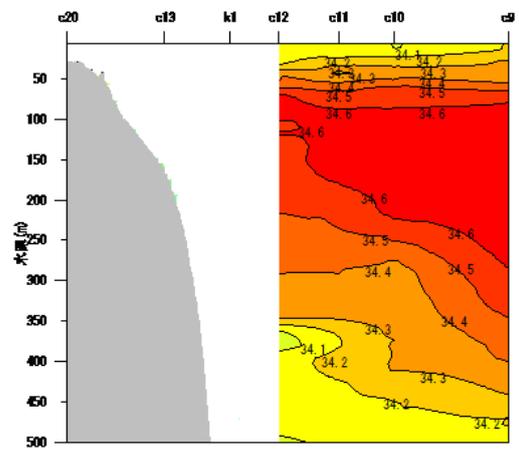
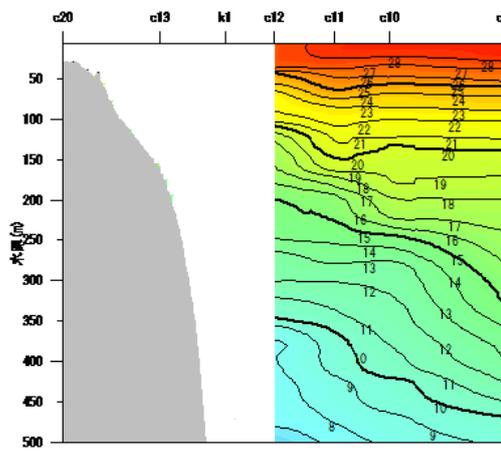


図5 水温鉛直分布

図6 塩分鉛直分布

上段：太東岬南東線，下段：野島埼南東線（図1参照）

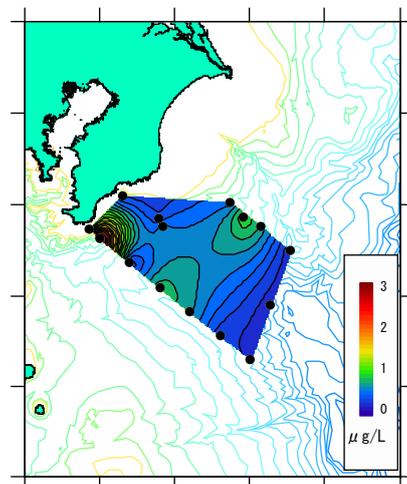
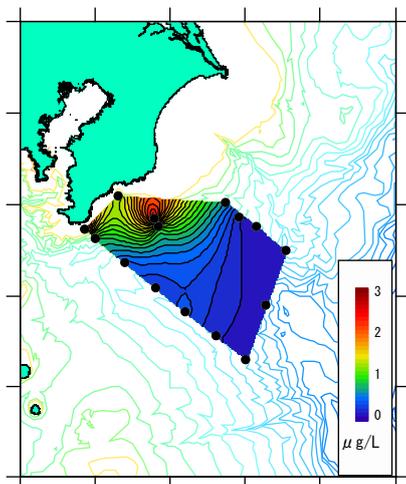


図7 水深10m（左図），同50m（右図）のクロロフィル分布（単位： $\mu\text{g/L}$ ）

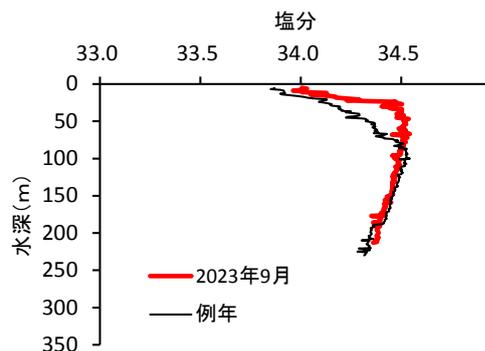
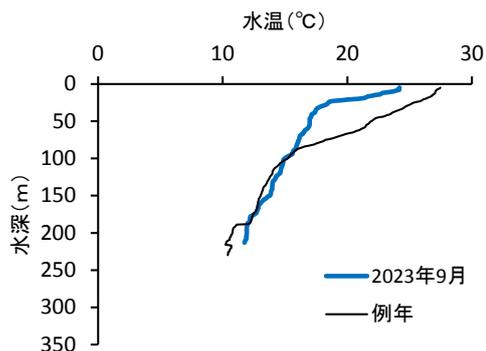


図8 勝浦沖キンメダイ漁場の水温，塩分鉛直分布（青：水温，赤：塩分）